

3.5 地表地質踏査

ボーリング調査を実施する上での基礎資料とするため、地表地質踏査を実施した。

踏査ではボーリングによって採取される地層の性状とボーリング調査工事可能箇所を把握しておく目的で、今年度実施した探査測線沿いの地域での露頭観察および平坦で比較的広い敷地の抽出を行っている。

踏査結果については露頭状況写真、ボーリング調査工事候補地点写真および写真撮影位置図にとりまとめている。

踏査結果をまとめると以下のとおりである。

○露頭状況

露頭状況写真を写真1～9に示す。

探査測線周辺の地域は開発工事が盛んに行われており、切土法面が多数みられる。

調査地域に分布している露頭の多くは切土法面であり、広範に地層の連続を確認することができる。

調査地付近に分布している地層は写真6および7に示すように地表面よりローム層、おし沼砂礫層および上総層群の3層からなる。写真で茶褐色を呈する層がローム層、帯灰褐色を呈する層がおし沼砂礫層、これらより下位のやや明るい灰白色を呈する層が上総層群にあたる。

上総層群は写真1および8に示すように泥岩勝ちの泥岩と砂の互層となっている。一部には白色を呈する細粒土の薄層を挟む。

おし沼砂礫層は上総層群を浸食して堆積した海成段丘堆積層である。写真2～5に示すように軽石を含む分級の進んだ砂層および砂礫層からなる。

ローム層は浸食に伴う削剥によって場所ごとに厚さが異なる。不均質な火山灰粘性土からなる。

本地域ではいずれの地層も連続性が良い。

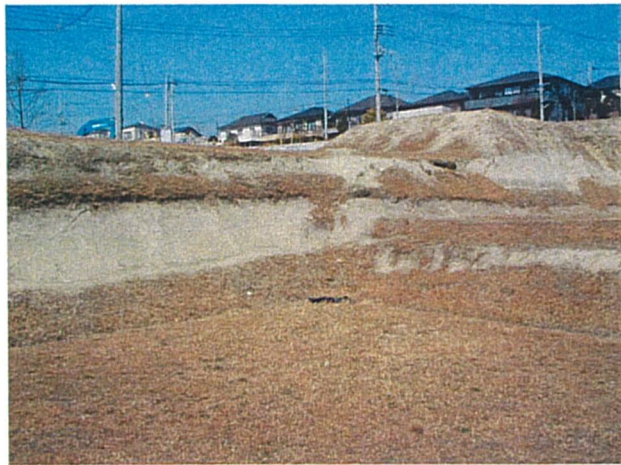


写真-1 多摩丘陵宅地切土に露頭する上総層泥岩



写真-2 多摩丘陵部で上総層上位を被覆する砂層
(下位と砂質シルト層)



写真-3



写真-4



写真-5

写真-3～5

江田駅近く東名高速道路の脇の露頭
のような円礫φ2cm（扁平）を含む。



写真-6 センター北駅西側の露頭



写真-7 写真-6 の下部



写真-8 写真-7 の下位



写真-9 写真-6～8の露頭の遠景

○ボーリング調査工事候補地点

踏査により確認した候補地点の写真を写真-10～19 に示す。

調査地域周辺には遊休地や公共の比較的広い土地が多い。



写真-10 反射測線 A 北端遊休地多い



写真-11 江田駅近く、写真-3 の上部



写真-12 撓曲帯中央付近（学校予定地）



写真-13 測線 A の南端付近の公園



写真-14 測線B北端に近い公園（川崎市）



写真-15 センター北駅の北方、都市基盤公団の所有地



写真-16 センター南駅近く、道路橋の橋台脇



写真-17 J A横浜北のグラウンドと駐車場



写真-18 測線B池部町付近、道路改良拡幅工事にともなう用地が確保されている。



写真-19 測線B南端、道路改良拡幅工事にともなう用地が確保されている。

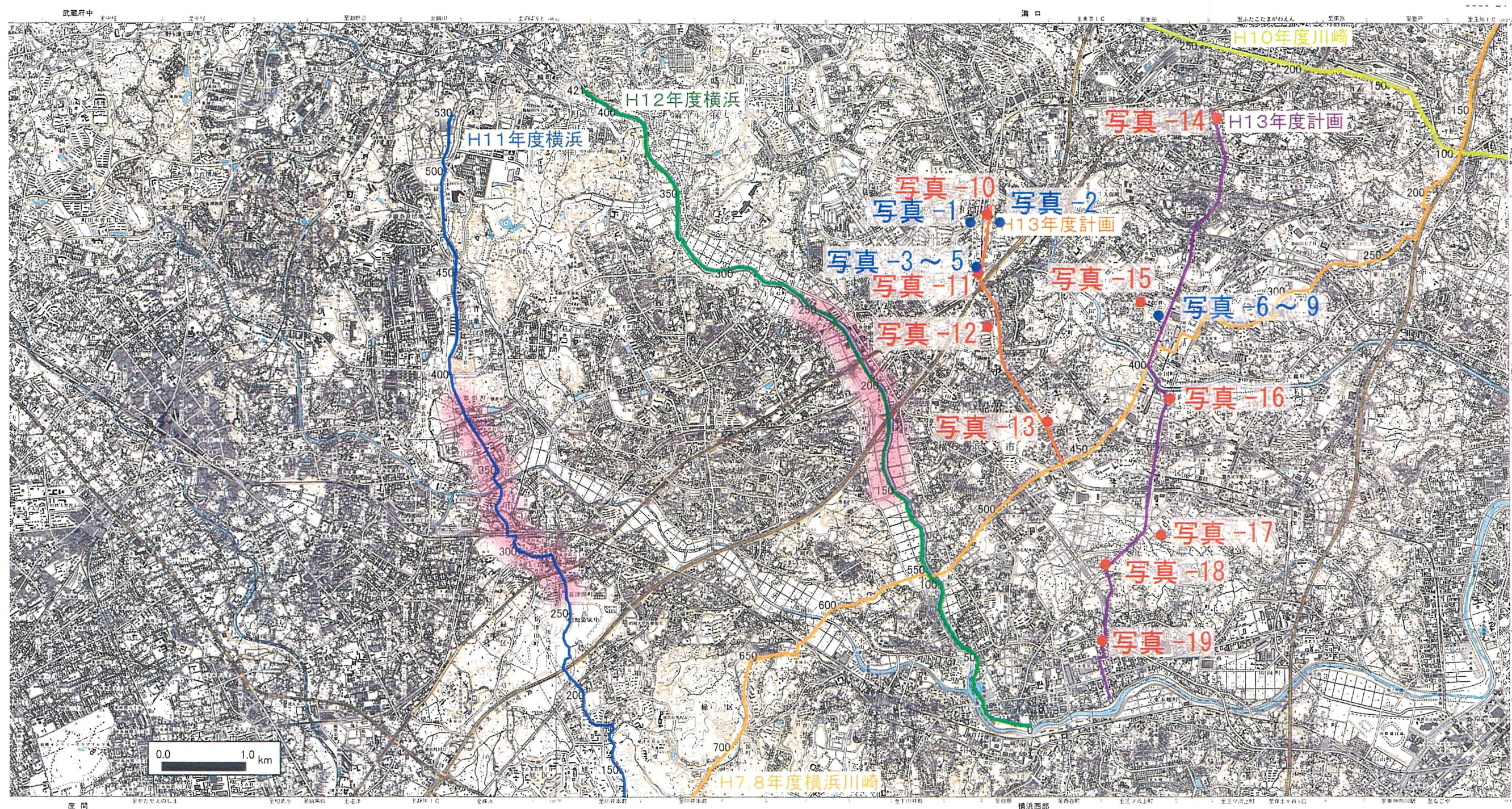


図 3.5.1 写真撮影位置図